

# 武蔵野クリーンセンター 運営協議会だより

2011.9.30 NO.50

クリーンセンターと周辺住民  
パートナーシップの記録  
新クリーンセンター検討報告  
エコ広場/クリーンセンターの放射能  
測定報告/他

発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会  
武蔵野市緑町3-1-5  
武蔵野クリーンセンター内  
電話 0422-54-1221

創刊  
50号

## クリーンセンターと周辺住民 パートナーシップの記録

武蔵野クリーンセンター運営協議会会長 木村 文

### 市民と行政が協働で広報づくり

クリーンセンター運営協議会は施設の稼働開始した昭和59年12月に発足し、3年後の昭和61年10月に「運営協議会だより」を創刊、その後年2回9月と3月に発行し、今号で50号を迎えました。全国広しといえども、編集会議から取材や校正まで市民と行政が協働で発行している広報誌は珍しいことです。今までを振り返るとあらためて果たしてきた役割の大きさを感じています。また、発行を支え協力してくださった方々に深く感謝いたします。

### ごみ問題と周辺地域の記録

運営協議会の活動は、住宅地の中のごみ焼却施設クリーンセンターの運営の監視とともに、周辺住民の理解を深めるための広報活動が含まれています。広報「運営協議会だより」は活動報告、地域のごみ問題、市のごみ対策、クリーンセンターの情報の他にも、ごみ処理の移り変わりに伴い様々な問題を取り上げてきました。

ダイオキシン類問題、資源化できないプラスチック類の焼却問題、ごみの有料化、最近ではクリー

ンセンター建て替えについて、時には特集を組み、市民の視点と客観的立場で、わかりやすく伝えてきました。その時何がありどのように取り組んだかを伝えた記事は、武蔵野市のごみ政策やクリーンセンターと周辺住民との貴重な記録です。

### 情報をわかりやすく住民目線で伝える

「運営協議会だより」は周辺住民を対象に発行されていますが、内容は全市民に読んでもらえるものです。周辺地域の他には、図書館など公共施設にも配布しています。施設の情報は専門的で難しい言葉がたくさん出てきますが、市民に伝えるべき重要な内容ばかりです。わかりやすくするために、編集は毎回勉強することがいっぱいです。

また、クリーンセンターの情報だけでなく周辺住民の思いも伝える広報は他にありません。多くの方々にクリーンセンターを通して武蔵野市のごみや環境問題に関心をもっていただき、ごみの減量・資源化につながればと願っています。

とはいえ、ささやかな広報誌、まだまだ課題はつきません。今後も読者のみなさんに、役立ち親しまれる広報づくりに努めていきます。

### 平成23年度 運営協議会委員

会 長：木村 文（緑町二丁目三番地域住民協議会）	高橋 健一（北町五丁目町会）
副 会 長：藻谷 征子（緑町三丁目町会）	早川 峻（北町五丁目町会）
会 計：高橋 豊（北町五丁目町会）	越智 征夫（緑町三丁目町会）
会 計：千綿 澄子（緑町二丁目三番地域住民協議会）	興梠 信子（緑町二丁目三番地域住民協議会）
監 査：狩野 耕一郎（緑町三丁目町会）	渡部 敏夫（環境政策担当部長）
	木村 浩（クリーンセンター所長）

# 基本計画をもとに検討体制がスタート

## 施設の基本仕様に基づき要求水準書作成へ 提言をもとに周辺整備の整理と具体化

新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設基本計画策定委員会で施設基本計画提言が5月にまとめられ、これをもとに市民の意見を加えて、7月に「施設基本計画」が策定されました。また、生活環境影響調査も4月から始まっています。

武蔵野市は今後の体制を整え、「施設基本計画」に基づいて、さらに具体化へ向け検討がスタートしました。

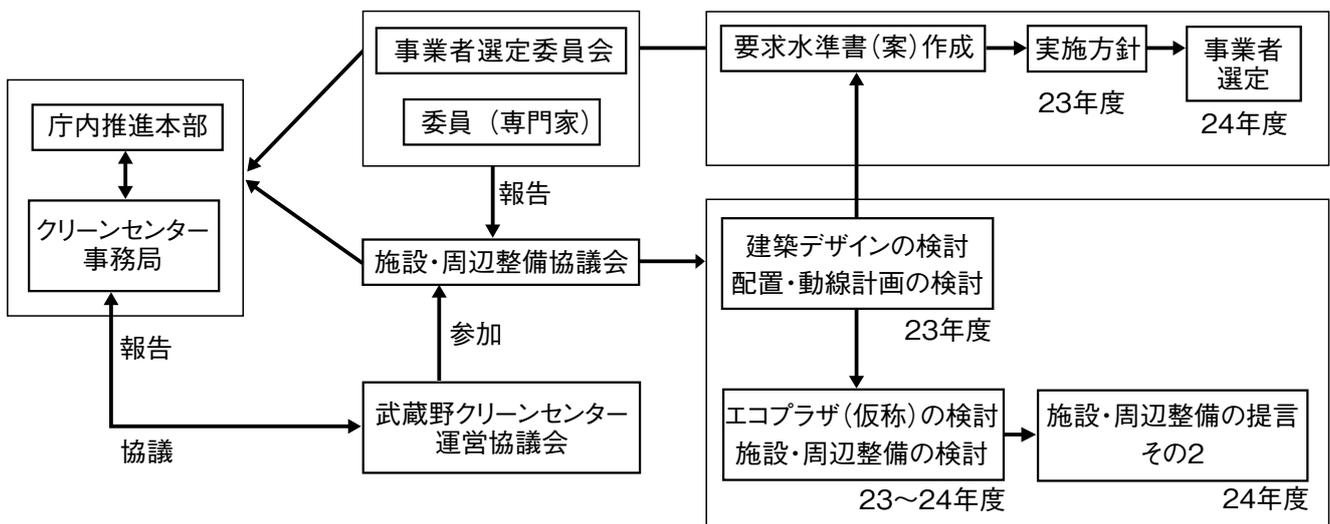
### 民間事業者を公平かつ適正に選定 事業者選定委員会

施設の建物や設備をより具体的に検討する委員会で、技術と専門性が要求されているため、学識経験者、廃棄物の専門家により構成されています。DBO方式(※)による事業手法によって、「施設基本計画」に基づき、民間事業者に求める内容の要求水準書(案)を作成し、平成23年度内に実施方針を公表します。平成24年度は、実施方針に基づき、新施設の整備、運営事業における民間事業者の選定を公平かつ適正に行ないます。任期は平成25年3月末まで、2ヵ月1回開催されます。(構成は表2)

### 付帯施設と周辺まちづくりを検討 第二期施設・周辺整備協議会

新クリーンセンターの付帯施設や周辺まちづくりについて検討する施設・周辺協議会は、第一期の検討を3月に提言にまとめました。第二期協議会は、周辺住民を中心とした前回の構成に、関係市民団体代表を加え市全体の問題として議論する体制が強化されました。施設の建築デザイン、動線などを検討して、事業者選定委員会が作成する要求水準書(案)に反映させます。また、提言に基づき、さらに周辺地域の整備、まちづくりの検討を進めます。任期は平成25年3月末まで、2ヵ月1回開催されます。(構成は表3)

### 平成23～24年度の検討体制



### 周辺まちづくり整備庁内推進本部

昨年度から引き続き市役所庁内の横断的な調整を図り、事業者選定委員会とともに施設・周辺整備協議会の検討支援を行ないます。

● 構成員 8人

副市長2人、企画政策室長、総務部長、環境政策担当部長、都市整備部長、教育部長

※DBO方式 (Design Build Operate)

市が事業主となるが、民間事業者に施設整備・運転管理を一括して長期契約することで、コストを抑え、民間のノウハウをいかに発注方式。

表2 事業者選定委員会の構成メンバー（平成23年9月発足）

分野	氏名	所属	武蔵野市との関係・備考
学識経験者 (3人)	大江 宏	亜細亜大学経営学部教授	策定委員会、ごみ市民会議
	小島 紀徳	成蹊大学理工学部教授	ごみ市民会議
	水谷 俊博	武蔵野大学環境学部環境学科住環境専攻准教授	施設・周辺整備協議会
専門家 (2人)	安井 龍治	東京二十三区清掃一部事務組合	策定委員会
	荒井喜久雄	社団法人 全国都市清掃会議	策定委員会
弁護士	野本 修	弁護士	清掃工場関係を専門とする弁護士
市(2人)	高橋 良一	財務部長	庁内推進本部
	渡部 敏夫	環境政策担当部長	庁内推進本部、策定委員会、施設・周辺整備協議会

表3 施設・周辺整備協議会の構成メンバー（平成23年10月発足）

分野	氏名	所属
学識経験者(2人)	<会長>小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授、東海大学教授
	<副会長>水谷 俊博	武蔵野大学環境学部環境学科住環境専攻准教授
周辺住民(12人)	高橋 豊 村井 寿夫	吉祥寺北町五丁目町会
	早川 峻 高橋 健一	
	藻谷 征子 塩澤誠一郎	緑町三丁目町会
	越智 征夫 狩野耕一郎	
	木村 文 千綿 澄子	緑町二丁目三番地域住民協議会
	興梠 信子 園田 治	
地域コミュニティ協議会 (4人)	島森 和子* 高石 優	けやきコミュニティ協議会で推薦する者
	飯村 雅洋 山崎君枝	緑町コミュニティ協議会で推薦する者
緑懇話会(2人)	平田 昭虎 岡田 敬一	緑懇話会
	新垣 俊彦	クリーンむさしのを推進する会を代表する者
関係市民団体 (3人/内1人兼任)	島森 和子(*兼任)	武蔵野コミュニティ研究連絡会を代表する者
	金子 和雄	武蔵野市商店会連合会を代表する者
市	渡部 敏夫	環境政策担当部長

## 今後の課題

事業者選定委員会は、非常に専門的な内容で、公正な入札を行なうために一般の傍聴はできません。もちろん市民参加で作成された施設基本計画をもとに検討されますし、検討の経過は施設・周辺協議会でその都度報告されます。

それでも市民による生活環境の安全面と納税者の立場から財政面のチェックが必要といえます。建築デザイン、動線などについて、施設基本計画策定委員会で議論しきれなかった部分もあり、今回の周辺協議会の中に元策定委員会のメンバーも参加しており、継続して検討していきます。今後、運営協議会と施設・周辺協議会が連携して、市民側の監視をしっかりとっていくことが大切です。

今年度中に民間事業者に施設整備や運転管理を求める内容となる要求水準書(案)を作成することは、新クリーンセンターの形が決まってくるといことです。

また、周辺整備とまちづくりも3月に出した提言をさらに整理していくこととなります。周辺住民にとって安全で、市民に親しまれる施設となるよう、今後とも検討にご注目ください。

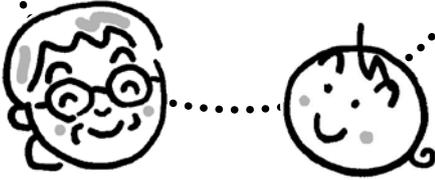
★施設・周辺整備協議会は傍聴できます。

ご希望の方は、クリーンセンター事務局までご連絡ください。

★検討の経過は、武蔵野市のホームページからご覧いただけます。

暮らしの中のタカラ探し

# エコ広場



7月3日(日) 武蔵野クリーンセンターで、運営協議会主催の「暮らしの中のタカラ探し エコ広場」が開催され、延べ 150 名の来場がありました。新クリーンセンターの検討の中から生まれた「不用品に新しい価値をつくる」をテーマにして、コンサートや講演、ワークショップなど今までにないユニークな内容で、多くの方々のご参加をいただき、おおいに盛り上がりました。

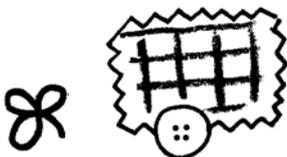
## ミニコンサート

オープニングは、地元の武蔵野市立第四中学校吹奏楽部のみなさんによるすばらしい演奏で一気に会場は盛り上がりました。



## 小澤紀美子先生のお話

新クリーンセンター施設・周辺協議会会長の小澤紀美子先生のお話は、「未来のクリーンセンターに向けて」。子どもたちも巻き込んだまちづくり、施設づくりなど、様々な事例をスライドを見ながらうかがいました。



## てづくりワークショップ ボタンで遊ぼう！

不用なボタンやぎれを使って、エコバッグや写真立て、ストラップなどを作りました。大人も子どもも夢中になって材料を吟味して製作に没頭し、予想を上回るすばらしい作品が次々に生まれました。



これいいじゃない



どれにしようかな。  
迷っちゃうな



ボタンやぎれだけでなく、毛糸や砂利も使った工夫がいっぱい。力作ぞろいです。



エコバッグ



ストラップやバッジ



# クリーンセンターの放射能測定

結果は安全なレベル。エコセメント化施設との協定で  
 今後は毎月一回放射能濃度測定実施へ

3月11日の東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が大きな損傷を受け、放射性物質が大量に放出され、各地で生活環境が心配されています。6月に江戸川区のごみ処理工場で、飛灰から9740ベクレルもの放射性物質が検出され、環境省と東京都環境局は23区と多摩地域のごみ処理工場に放射能測定を要請しました。

クリーンセンターで7月に測定された結果、飛灰から微量の放射性物質が検出されましたが、バグフィルターによりほぼ取り除かれ、煙突から出る排ガスでは不検出となっています。飛灰は薬剤で固化し、主灰と混合して日の出町に運ばれエコセメント化されます。

8月、二ツ塚の東京たまエコセメント化施設は、日の出町と取り扱い特別協定を結び、搬入するごみ処理工場は月一回放射能濃度の測定をすることになりました。結果が8000ベクレル以内ならエコセメント化施設で受け入れ、超えればごみ処理工場の敷地内に保管することになります。

クリーンセンターでは、「主灰、飛灰、排ガス、汚泥」の放射性物質濃度と、敷地境界「東西南北4カ所」における空間放射線量の測定を7月22日に実施しました。

放射性物質濃度測定結果 単位：Bq/kg(ベクレルパーキログラム)

測定内容	放射性ヨウ素		放射性セシウム	
	131	134	137	合計
主灰(焼却灰)	不検出	111	120	231
飛灰(固化後)	不検出	881	992	1,873
汚泥	不検出	不検出	不検出	不検出
排ガス(煙突)	不検出	不検出	不検出	不検出

参考：「福島県内の災害廃棄物の処理の方針」環境省より抜粋  
 放射性セシウム濃度(セシウム134とセシウム137の合計値)が8000ベクレル以下の主灰、飛灰は、最終処分場における埋立処分が可能。濃度の目安8000ベクレルは、埋立作業員の安全も確保される濃度レベルである。

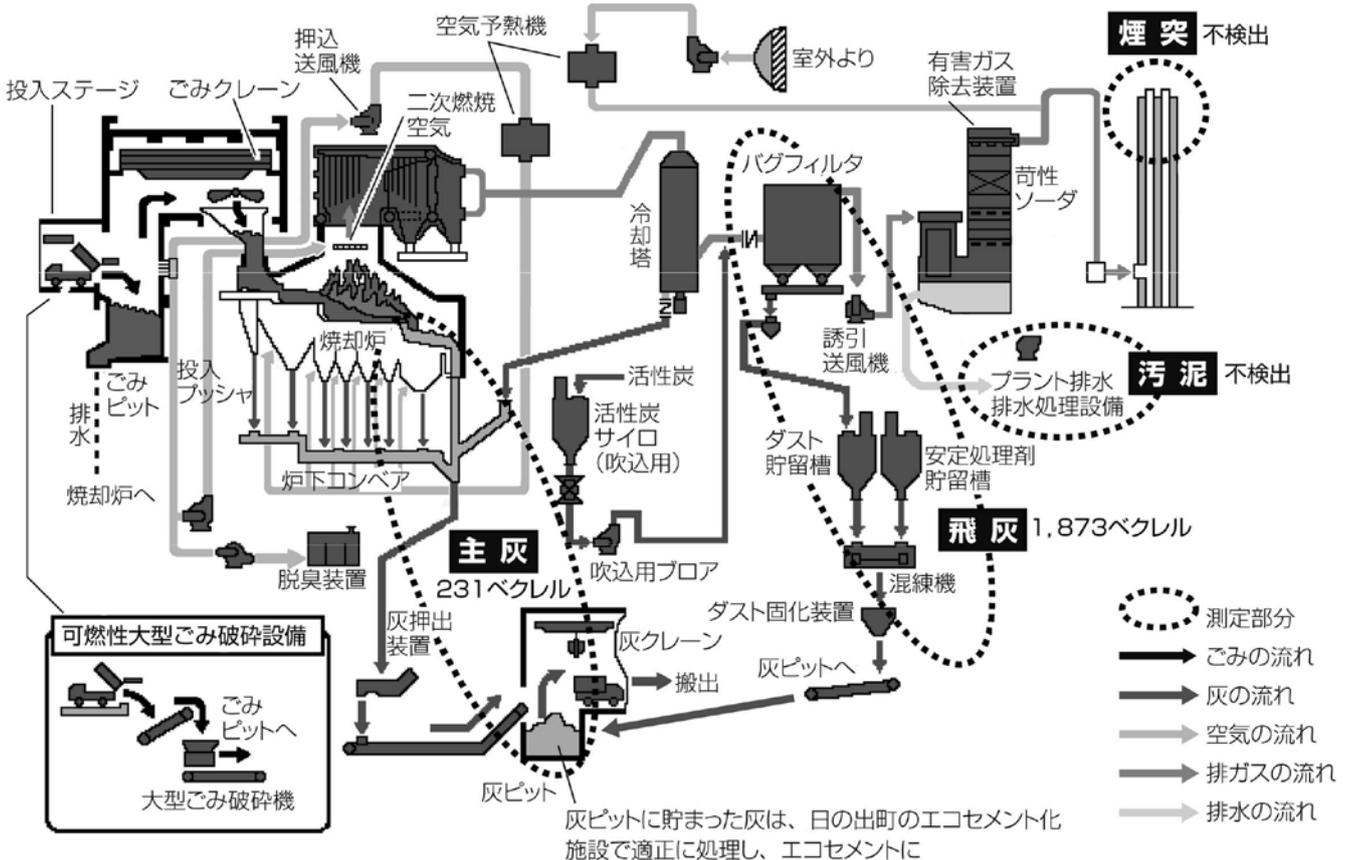
空間放射線量測定結果 単位：μSv/h(マイクロシーベルトアワー)

測定位置	東	西	南	北
地上高さ1m	0.07	0.08	0.08	0.08
地上高さ50cm	0.07	0.08	0.09	0.08
地上高さ5cm	0.07	0.09	0.10	0.08

## ★放射線、放射能、放射性物質とは？

- 放射線…放射性物質から放出されるエネルギー
  - シーベルト(Sv/h)=人が受けた放射線の影響の度合いを表す単位
  - 放射能…放射性物質が放射線を発生する能力
  - ベクレル(Bq/kg)=放射能の強さを表す単位
  - 放射性物質…放射線を出す物質。
- 問題になるのは放射性のヨウ素131、セシウム134、セシウム137など。放射性物質の微粒子を吸い込んだり、汚染された水や食物を通し体内に取り込むと、それらの放射性物質が体内から放射線を浴びせて遺伝子や生体組織に害をおよぼす。

## 可燃ごみ焼却の流れと放射能測定位置



### ◆クリーンセンターの夏の節電対策

福島第一原子力発電所の事故により、この夏は日本中が大幅な節電を強いられました。経済産業省の要請を受けて、クリーンセンターでも昨年度の制限期間内の最大使用電力の15%の節電を行ないました。

ごみ処理工場は非常に電力を使用します。クリーンセンターの昨年の1時間当りの最大使用電力量は1056kw、制限使用電力量は15%カットの898kwで、これを超えれば罰金が生じます。大幅な節電をするために、さまざまな工夫をしました。

＜節電の期間＞ 7月1日～9月22日

＜主な節電対策＞

1. 制限期間中は、焼却炉2炉運転した場合は粗大ごみ処理設備の平日運転を停止。必要に応じて土・日・祭日に運転。1炉運転の場合は粗大ごみ処理設備を平日運転にする。
2. 施設全体の空調をインバーター運転にする。電力を必要以上使用しないよう調節する。
3. 大型ごみ破砕機の連続運転時間を制限。
4. バグフィルターで捕集した飛灰を固化する設備の運転時間を夜間に変更。
5. 必要のない照明の消灯および間引き照明。
6. 使用電力を監視して最大電力を抑える。
7. 事務所棟などのエレベーターは必要以外は止める。

節電期間の終了後も、福島第一原発の問題は終息したわけではなく、電力の回復の見込みもたっておりません。燃やすごみの量が減れば、電力使用量も減ります。市民の皆さんには、この機会に引き続き節電するとともにごみの減量・資源化にご協力お願いいたします。

### ◆新委員のご挨拶

#### みんなの意見が反映されるまちづくりに向けて

武蔵野緑町二丁目三番地域協議会 興侶信子  
クリーンセンター建て替えという大変大事な時期に、クリーンセンター運営協議会委員をお引き受けすることになりました。

武蔵野緑町パークタウンに住んで37年。この間、団地建て替えを経験しました。愛するこのまちが、安全・快適であり、まちづくりへみんなの意見が反映されるようにしたいと考えます。

建て替えは全市民的課題ですが、地元の委員として微力ですが努力してまいります。

### ●平成22年度 運営協議会決算

単位＝円

収 入		支 出	
市補助金	1,000,000	事務費	0
その他の収入	67,898	広報費	256,954
前年度繰越金	591,697	事業費	1,175,834
		会議費	26,779
		備品費	4,830
		予備費	0
計	1,659,595	計	1,464,397
次年度繰越金		195,198	

### ●平成23年度 運営協議会予算

収 入		支 出	
市補助金	1,000,000	事務費	5,000
その他の収入	30,000	広報費	280,000
前年度繰越金	195,198	事業費	840,000
		会議費	40,000
		備品費	30,000
		予備費	30,198
計	1,225,198	計	1,225,198

### ●平成23年度 事業計画

1. 運営協議会会議開催  
(4月・5月・8月・10月・12月・2月)
2. 運営協議会イベント エコ広場(7月)
3. 「運営協議会だより」発行(9月・3月)
4. バス研修会(10月)
5. 運協委員視察研修(11月)
6. 理事者との意見交換会(12月)
7. 環境健康診断(2月・3月)

### ◆バス研修会のお知らせ

詳細は後日お知らせを配布いたします。

◎行き先…東芝科学館・しながわ水族館予定

◎日 時…10月29日(土)

◎対 象

緑町三丁目町会、北町五丁目町会、緑町パークタウンと緑町二丁目第2アパートにお住まいの方

### ◆むさしの環境フェスタ

今年は環境政策課、ごみ総合対策課、クリーンセンター合同で開催。詳細は市報等でお知らせします。

◎11月6日(日) 場所／武蔵野クリーンセンター

### ●編集後記

新クリーンセンター施設基本計画策定委員会に参画して、3月に最終報告書が完成してほっとしたところである。次のステップは、高度な技術を必要とする専門家組織である事業者選定委員会にゆだねるが、地域住民としては、その活動動向を継続監視することが重要である。(越智征夫)